

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 09-020

PDCA	事務事業名	防犯活動事業	部課等名	総務部 防災交通課 交通 防犯担当	担当	中村	
					内線等	286	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章：第4章 安全で快適に住み続けられるまち 節：第1節 安全・安心な社会の形成 基本施策：2. 防犯対策 単位施策：(1) 防犯活動の推進 個別施策：③防犯意識の向上					
	根拠法令等	半田市安全なまちづくり条例					
	対象・目的	半田市安全なまちづくり条例に基づき、活動主体である半田市防犯協会を中心に関係機関と連携し、地域の防犯活動を実施する。また、犯罪を未然に防止するため、自治区等と連携し、青色回転灯を装備した青色防犯パトロールなどの防犯活動を積極的に実施し、市民の防犯活動の高揚を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	自治区と連携・協働し、自主防犯活動、安全なまちづくり活動を推進するとともに、市民等の防犯に対する意識高揚のための啓蒙活動を推進する。また、地域の実情に応じて青色回転灯装着車による防犯パトロールを実施するとともに、気軽に参加することのできる防犯パトロール活動の周知や不審者情報等の広報を行う。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①青色防犯パトロール講習開催回数	9	9	12	回	
		②連れ去り防止防犯教室実施園数	25	25	26	園	
		③防犯出前教室	13	18	19	回	
		事業費	1,613	1,420	1,791	千円	
		人件費	3,185	2,830	3,374	千円	
		総事業費	4,798	4,250	5,165	千円	
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
		①市民1人あたりの防犯活動事業費	40	36	44	円	
	成 果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①幼保、こども園への防犯指導	実績値	25	25	26	回
			目標値	28	28	26	
		②防犯講話及び防犯教室の開催	実績値	8	18	19	回
目標値			5	10	10		
		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	B					
		研修会の開催や、パトロール資材の提供を行い、防犯ボランティア活動の活性化を図るほか、普段の日常生活の中で気軽に参加することのできる「ながら防犯パトロール隊」を結成し活動周知を図った。また、犯罪抑止のため、ドライブレコーダーを活用した「半田市ドラレコ隊」の制度設計を行った。一方、住宅対象侵入盗、特殊詐欺被害は継続的課題となっているため、市民や事業所、警察と連携をした防犯活動に努めていく。 刑法犯認知件数：令和元年647件（平成30年695件）対前年比▲48件▲6.9%					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 13年ぶりに県内の住宅対象侵入盗が全国ワースト1位から脱却し、刑法犯認知件数は減少しているが、依然として特殊詐欺や自転車盗が多発しているため、自主防犯団体等との連携による啓発活動を行うほか、「ながら防犯パトロール隊」、「半田市ドラレコ隊」の取り組みを周知し、防犯参画者拡大を図るとともに市民の防犯意識の高揚につなげる。 また、半田警察との連携、情報共有を密にすることで、より効果の高い防犯啓発に取り組む。					
	令和2年度の目標	成果指標			目標値	単位	
		①幼保、こども園への防犯指導			26	回	
		②防犯講話及び防犯教室の開催			12	回	